

保育及び子育て支援に関する調査研究報告書 -平成 16 年度-

II. 調査結果の分析

8. 保護者の保育参観

全国平均でも 93.0%の実施率となっています。結果から見て地域を選ばずに9割以上の園で行われている事も数字の上で確かめられました。わずかながらある実施していない園の理由は、「保育所の方針 40.8%」「保護者が希望しない 24.5%」「職員の意見がまとまらない 6.1%」でした。最近の現場での状態を筆者自身の現場で見ていくとあるクラス（学齢別保育）で毎回全員の子どもの親及び保護者が参観に出席しています。その他のクラスもかなり出席率が良い事からも、この事については、毎日の保育士による親とのきめの細かいコミュニケーションでの努力の積み重ねが大きく影響していると考えられます。保育士による親とのさりげない会話の積み重ねで親の心がわが子へ向けられていく変化が感じられます。又、仕事との両立の為日程調整をしやすくする事への工夫も保育園側から行っていき、親や保護者が参加しやすい形に調整していきました。親へのコミュニケーションの中で保育参観も含めた行事予定を年度スタートで渡しながらも調整に難しい部分をさらに保護者からの申し出を取り入れ、いい状態にしていく様に実施してきました。子どもの為に大人が工夫していく事の自然でいい形が現れている様に考えられます。